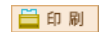


選択した講義の内容です

2019年度

操作ボタン

講義科目名称 : **工学フォーラム（船舶工学コース）**
英文科目名称 : **Engineering Forum**授業コード : **21103**

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	1年次	2	選択
担当教員			
船舶工学コース全員			
1年次	工学部 工学科 船舶工学コース	週2時間	アクティブラーニング : 有り
添付ファイル			
科目ルブリック(工学フォーラム_HORI).pdf			
科目ルブリック(工学フォーラム)			

授業概要	大学教育，大学生活への導入教育として，船舶工学コース1年生を対象に開講する。 4人前後の小グループゼミ形式，造船所見学及び各テーマにて動機付け教育を行う。 ・学位授与の方針・教育課程編成実施の方針の対応する教育目標：【船6】 ・系統図も参照すること！
授業計画	工学フォーラム（船舶工学コース） 第1回：船舶工学コースの説明と自己紹介〔堀，石川，松岡，古野〕 第2回：履修指導（時間割の作成）〔堀，石川，松岡，古野〕 第3回：履修指導（時間割の修正・最終確認）〔堀，古野〕 第4回：履修指導（受講申告確認・修正）及び研修旅行の事前学習〔堀，古野〕 第5回：研修旅行〔池上，堀，石川，松岡，古野〕 第6回：修旅行報告書作成〔堀〕 第7回：学内見学ツアー〔石川，古野〕 第8回：講話 i 「船舶の何故なぜ？」〔石川〕 第9回：講話 ii 「造船の仕事とは？」〔松岡〕 第10回：講話 iii 「日本の海運業とそれを取り巻くプレーヤー」〔古野〕 第11回：講話 iv 「海洋再生エネルギー」〔池上〕 第12回：講話 v 「数学で語る船の波」〔堀〕 第13回：グループ座学 i 〔堀，石川，松岡，古野〕 第14回：グループ座学 ii 〔堀，石川，松岡，古野〕 第15回：感想文の作成〔堀〕
授業形態	講義（オムニバス方式） アクティブラーニングの一環として，造船所見学並びに小グループゼミを行なう。
達成目標	1) 人間力の向上 2) 勉学意欲の向上 3) 大学の意義の理解
評価方法	レポート，取り組み方を総合的に評価する。
評価基準	

	上記の評価方法において、60点以上を合格とし、以下のように、成績を評価する。 【2018年度以前の入学生】優・良・可・不可の4段階で評価し、 優は80点～100点、良は70点～79点、可は60点～69点、不可は59点以下とし、 優・良・可を合格、不可を不合格とする。 【2019年度以降の入学生】S・A・B・C・Dの5段階で評価し、 Sは90点～100点、Aは80点～89点、Bは70点～79点、Cは60点～69点、Dは59点以下とし、 S・A・B・Cを合格、Dを不合格とする。 ※ 詳細はルーブリックを参照すること！
教科書・参考書	必要に応じて配布する。
履修条件	特に無し
履修上の注意	研修旅行への参加を、伴う。
予習・復習	予習：講義の前に関係するテーマの本などを調べ、予備知識を持って講義に臨むこと。 復習：講義ノートを復習し、講義内容を整理して理解を深めること。
オフィスアワー	研究室に訪ねてください。時間が空いていれば対応します。
備考・メッセージ	2013年度以前入学者科目名称：「船舶海洋工学入門」 造船所実務経験のある教員による講義有り。